

学童期にみられる外傷歯への対応

疫学調査から永久歯の外傷は、7～9歳に多くみられることが報告されています。さらに、外傷を受けやすい永久歯は、歯根が未完成な状態にあることが多く、その処置には幅広い知識が求められます。

本講演では、まず永久歯外傷の疫学として、年齢別内訳、好発部位、受傷原因、受傷場所に触れ、学童期にみられる歯の外傷が学校生活と密接に関わっていることの現状を報告します。次に、その現状を踏まえ、永久歯外傷に対する予防法について述べるとともに、学校歯科保健における歯科教育の重要性について触れます。予防法を周知徹底していても、実際に歯の外傷が起こったときには、応急処置が必要になります。永久歯は乳歯と異なり、生えかわることがなく、出来る限り保存することが望ましいため、とくに歯が完全に脱落した場合の応急処置は重要であり、その歯の予後に大きく影響します。そのため、日頃から歯の外傷に対する正確な知識を習得し、緊急時にも慌てないことが大切です。さらに、実際の処置法を紹介しますので、日常臨床に活かして頂きたいと考えております。

最後に、歯の外傷に関連して知っておきたい事項として、外傷により前歯を喪失した場合の子どもの心理面に対する配慮、外傷歯に対する長期的観察の必要性と予後の問題、いじめや虐待との関連について講述致します。

略歴

朝田 芳信 先生



1986年 日本大学松戸歯学部 卒業
1986年 日本大学松戸歯学部小児歯科学講座 助手
1992年 日本大学長期海外派遣研究員として米国、ジャクソン研究所に留学
1993年 日本大学松戸歯学部小児歯科学講座 専任講師
1997年 日本大学松戸歯学部小児歯科学講座 助教授
2001年 鶴見大学歯学部小児歯科学講座 教授 現在に至る

所属学会・社会活動

一般社団法人日本小児歯科学会 理事長、鶴見大学歯学部附属病院 副病院長、
日本歯科医学会理事、日本歯科学系学会協議会常任理事、日大口腔科学会理事、
日本外傷歯学会理事、厚生労働省保険医療専門審査員、日本学術振興会科学研究費
委員会専門委員、日本学校歯科医会学術第一委員会委員長、神奈川県歯科医師会
摂食機能相談事業常任委員

日 程

日 時：平成 23 年 7 月 9 日（土）午後 6 時～8 時（午後 5 時 30 分 受付開始）

会 場：日本大学桜門会館 東京都千代田区五番町 2 番地 6

定 員：先着 100 名（定員になり次第締め切ります。）

受講料：日大松戸歯学部・日大歯学部（同窓会員・学生）・・・・・・・・ 無 料

（当日徴収）同窓会員以外の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,000 円

他歯科大生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,000 円

申 込 先：日本大学松戸歯学部同窓会

FAX : 047-362-7272

お問合せ先：日本大学松戸歯学部同窓会

TEL : 047-366-2834

受講を希望される先生は下記の枠内にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

ふりがな

氏 名

医院名：

松戸歯学部

期卒（

大学歯学部卒）

住所：〒

TEL：

FAX：

1. 会場地図 同窓会ホームページをご確認下さい。
2. 講演終了後、講師を交えての懇親会を予定しております。